

## 電波時計について

### 電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

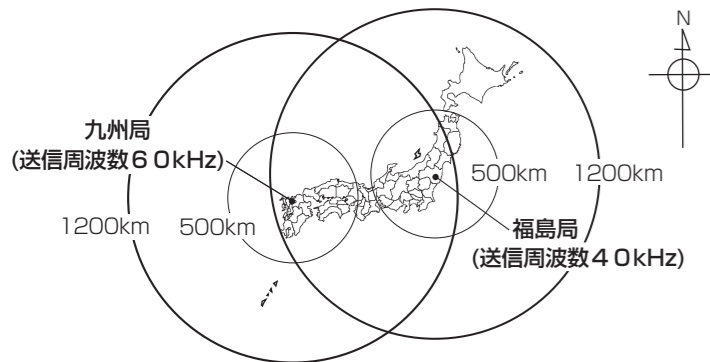
### 標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jyy.nict.go.jp)

### 受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使った場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させてください。「電波受信機能の停止方法」参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

## 電池取扱上のご注意

### アルカリ電池について

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

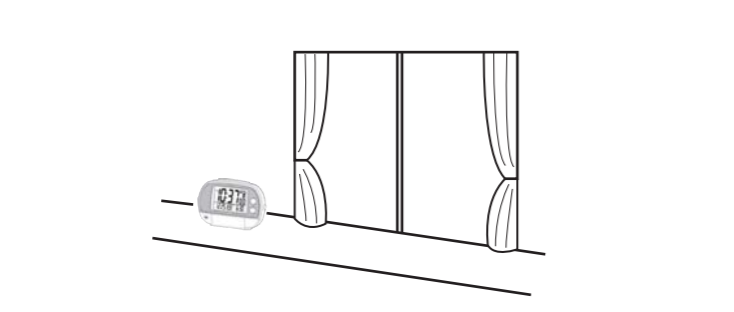


警告

## ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

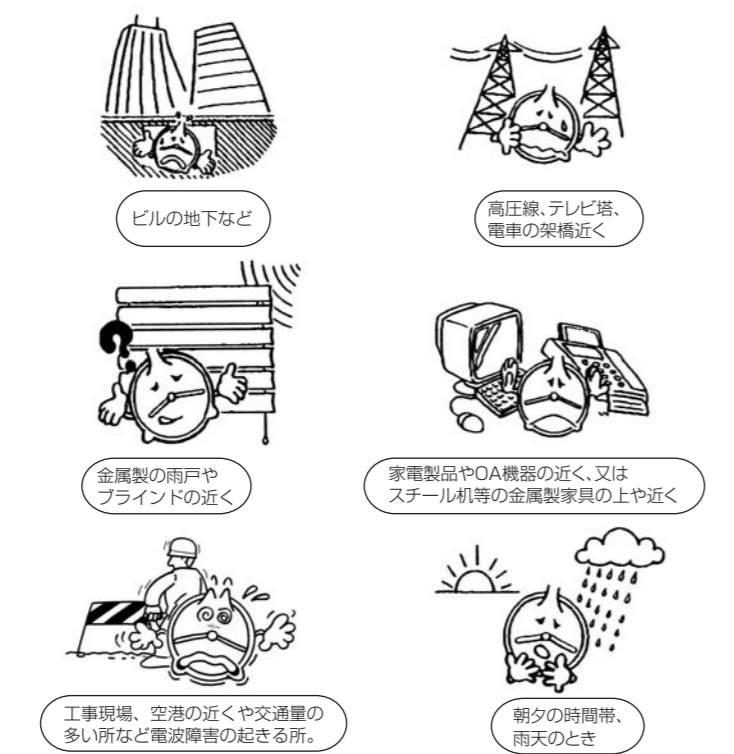
この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。



このほかの使用場所の条件などは、「ご使用場所の注意」をお読みください。

### 電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



## ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのもので、必ず守ってください。

表示内容を見無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- ⚠️ **警告** この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- ⚠️ **注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

- 🚫 **禁止** この表示は、してはけない「禁止」内容です。
- 🛑 **強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- ⚠️ **警告** 小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- 🚫 **分解禁止** 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

- ⚠️ **注意** 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

- ⚠️ **注意** 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

## ご使用場所の注意

- 🚫 **禁止** 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

## お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

## 製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功していた場合の表示誤差(受信直後) ±1秒以内 標準電波を受信できなかった場合 平均月差 ±30秒以内(常温中のクォーツ精度)
自動受信回数	受信に成功している場合:1日2回(最少) 受信に失敗している場合:1日8回(最多)
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音
使用温度範囲	-10~+50℃(液晶表示可読範囲0~40℃)
電池	単3形アルカリ乾電池(JIS規格 LR6) 4本
電池寿命	約1年 アラームを1日30秒鳴らした場合
その他	標準電波による時刻修正 電波受信ON/OFF切り替え 時刻表示12/24H切り替え カレンダー表示:2005~2099年対応 温度表示:-9.9~50℃(誤差:0~40℃の範囲で±2℃) 明暗センサーによる表示部の自動点灯 アラームスヌーズ機能

- ※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- 付属の電池は、工場出荷時に入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
- 液晶表示はおよそ5年を過ぎると表示が読みにくくなります。
- 0~40℃の温度範囲を超えた場合、液晶表示が読み取りにくくなる場合があります。
- 時計を廃棄するときには、お住まいの地区の基準に従ってください。

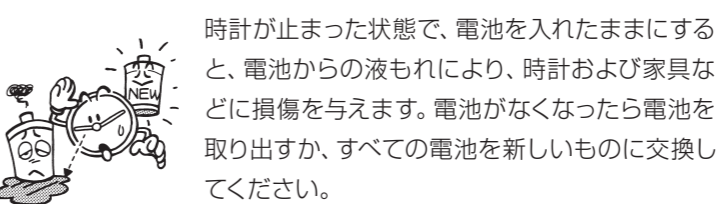
## 5. 照明について

- 自動点灯スイッチを「ON」にすると、明暗センサーにより、暗くなると自動的に表示部を照明することができません。
- 自動点灯スイッチの設定に関係なく、スヌーズボタンを押すと約3秒間表示部を照明します。
- ※スヌーズボタンを押した場合、自動点灯しているときよりも明るく照明します。
- ※昼間や夜間照明時などでも、明るさが不足して明暗センサーが暗いと判別することがあります。
- ※電波を受信中は暗くなくても自動点灯しません。

## 6. 電池の交換時期について

電池の交換時期になりますと、🔋マークが表示されます。このマークが表示されたらお早めに電池を交換してください。そのまま放置した場合、表示が見えなくなったり、電波を受信できないなどの原因となります。また、電池からの液漏れにより故障や家具などを汚す恐れがあります。

### 電池からの液もれに注意



## 静電気の影響について

- 静電気により時刻違いや誤った表示をすることがあります。このようなときには、リセットボタンを押してください。
- ※リセットボタンを押しても電波の受信を開始しない場合、電波受信機能が停止しています。手動で時刻合わせをするか、「戻る」ボタンを押しながらリセットボタンを押して電波受信機能を再開(ON)させてください。
- ※リセットボタンを押すと、2005年1月1日 午前12:00 アラーム時刻が午前6:00に初期化されます。

## CITIZEN®

## 電波時計

### デジタル目覚まし時計

## 取扱説明書

### ～ 製品の特長 ～

標準電波を自動的に受信して現在時刻を修正  
便利なカレンダー・温度表示

お問い合わせありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 8RZ036-2

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**  
この時計の修理用性能部品(電子回路等)は製造打ち切り後、3年間で標準に保有しています。ただし、外装部品(ケースなど)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくこともあります。
- 修理可能期間について**  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

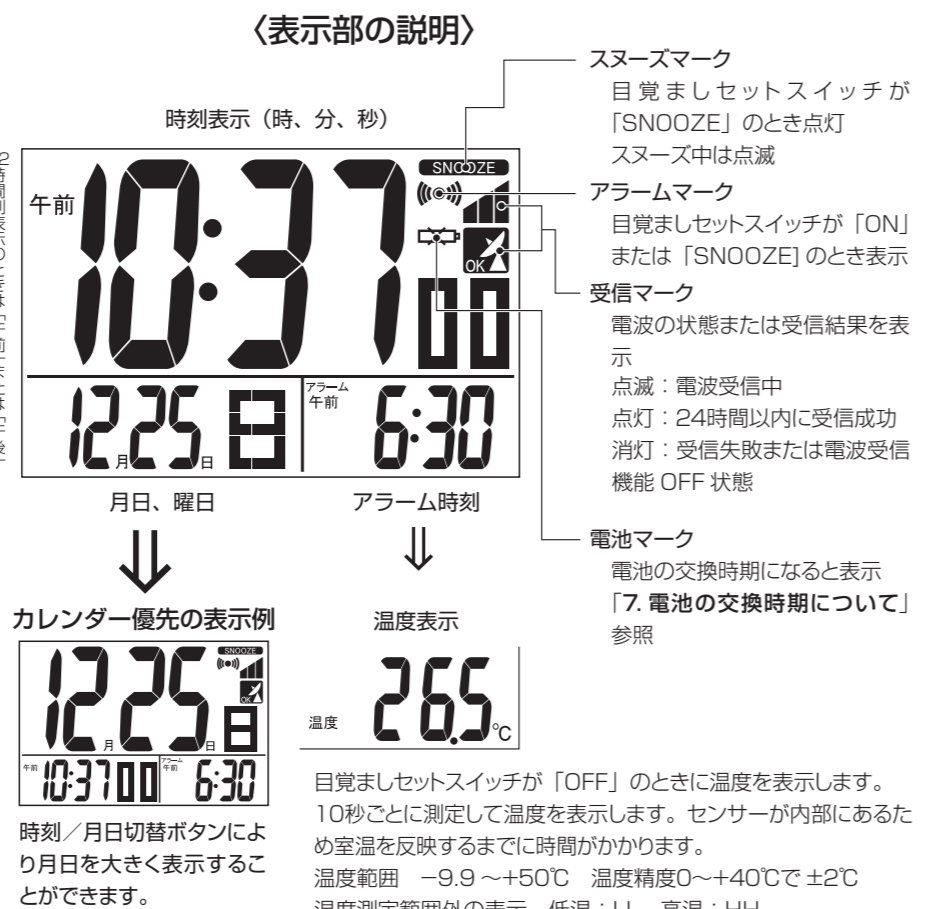
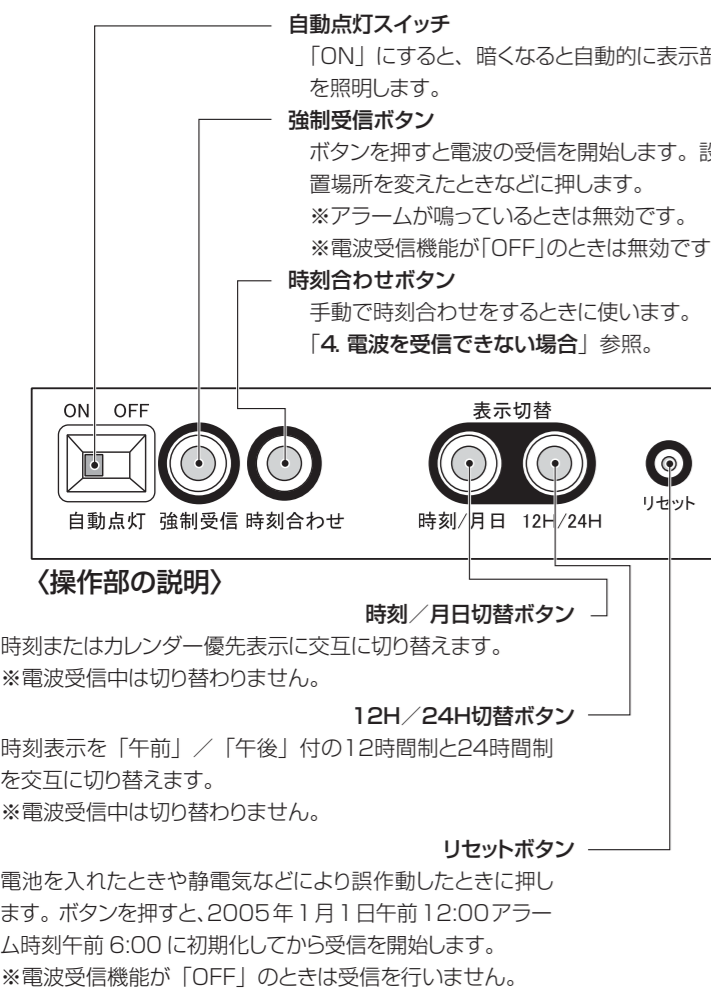
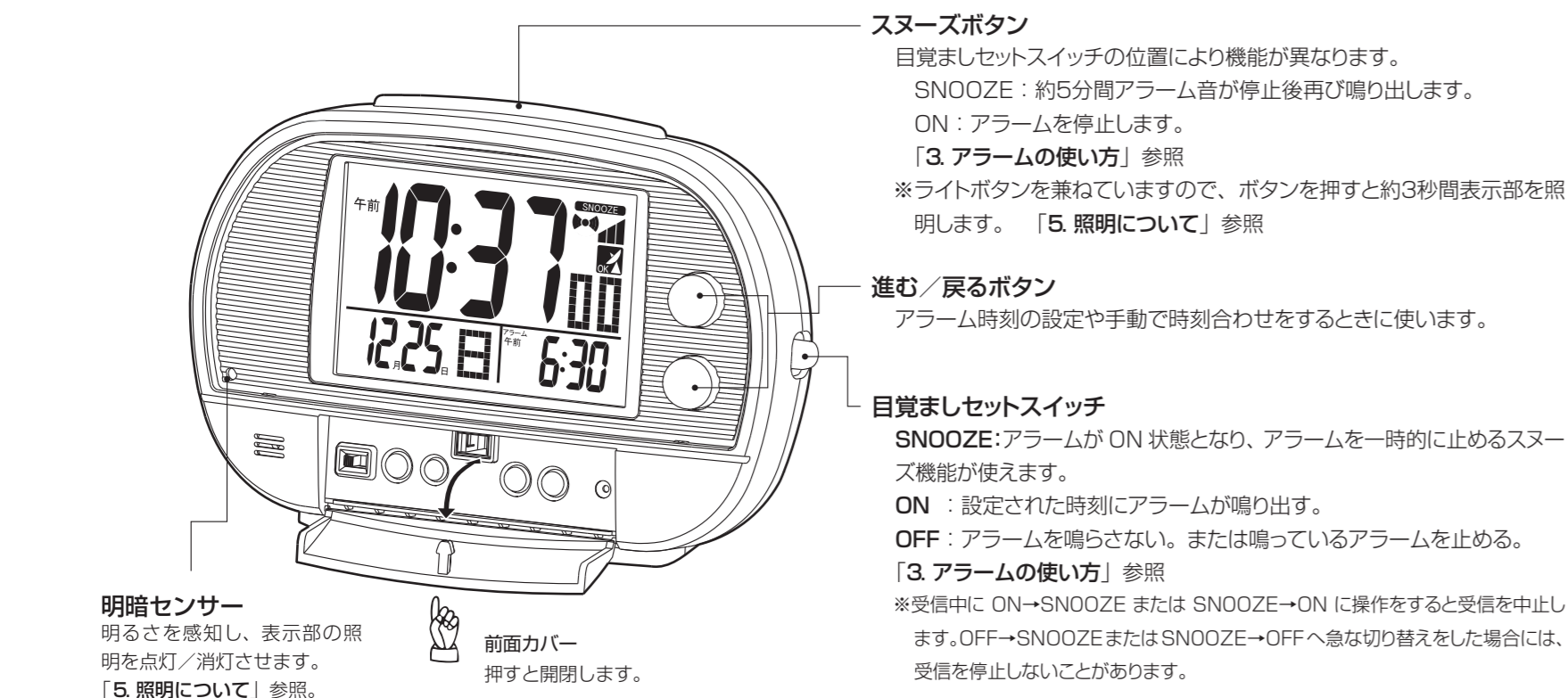
アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、型番「8RZ036」をお伝えください。

### お問い合わせ先

■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005  
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)  
発売元 **リズム時計工業株式会社**  
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

# 1. 各部の名称と役割について

図は操作説明用ですので実際の商品と形状などが異なることがあります。

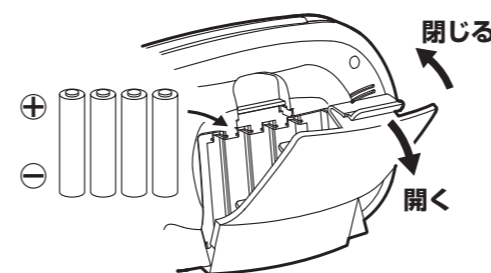


※液晶表示は見る角度により、表示が読み取りにくい場合やムラに見えることがあります。

# 2. 電波を受信して時刻を合わせます

## 電波を受信しやすい窓際などで操作しましょう

### 電池を入れます ①②③



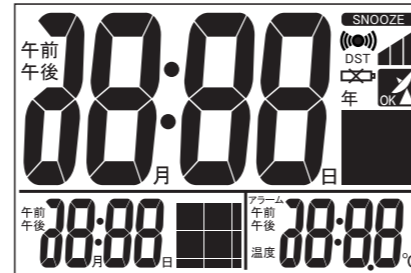
### リセットボタンを押します ④



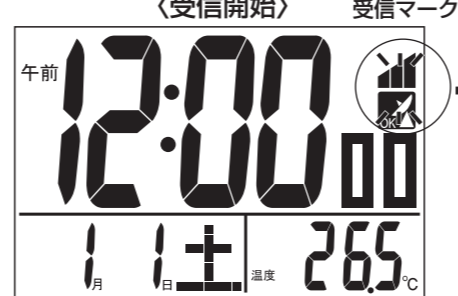
- ①底面の電池ぶたを開けます。
  - ②電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。電池を逆向きに入れると動きません。  
○電池と電池ホルダーの電極間に、絶縁シートがある場合は取り除いてください。
  - ③電池ぶたを閉めます。
  - ④前面カバー内のリセットボタンを押します。  
※電波受信機能が「OFF」のときは受信しません。
- 電池を入れたときやリセットボタンを押したときに確認音が鳴ります。短い時間内に電池の出し入れを繰り返した場合は鳴らないことがあります。
- ⑤受信結果を確認します。  
リセットボタンを押してから最長14分後に表示します。

## 【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉 受信マーク

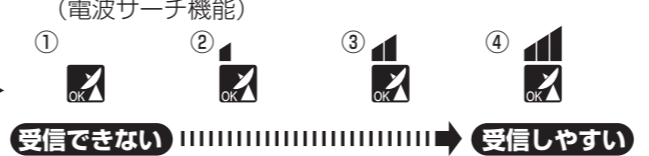


最長14分後



〈受信に成功したときの表示例〉

電波の状態により①～④へ点滅で変化します。(電波サーチ機能)



1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

受信に成功すると受信マークが点灯

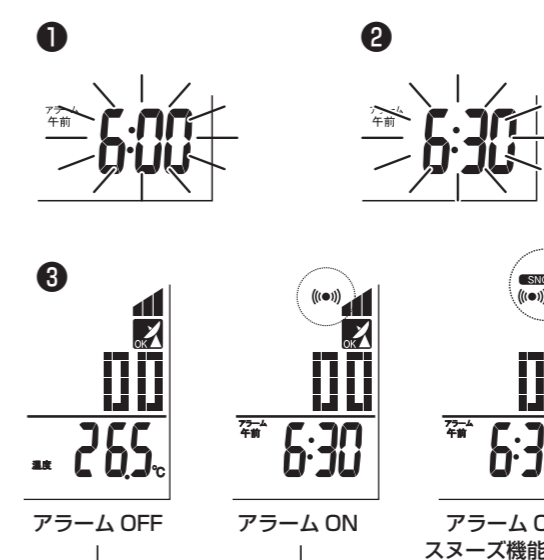
受信マーク消灯 失敗!



〈受信に失敗したときの表示例〉

〈正しい時刻を表示しません〉

# 3. アラームの使い方



## アラーム時刻の設定方法と目覚ましセットスイッチの設定

- ①「進む」または「戻る」ボタンを押してすぐ離します。  
アラーム時刻が点滅します。そのまま約3秒放置すると通常の表示に戻ります。
- ②「進む」または「戻る」を押してアラーム時刻を合わせます。  
「進む」または「戻る」のいずれかを押し続けると早送りになります。  
○約5秒間「進む」または「戻る」の操作をしないと表示されている時刻を設定して、アラーム時刻合わせを自動的に終了します。  
○電波受信中にアラーム時刻合わせをすると受信を中止します。  
○12時間制表示のときは、午前/午後の表示に注意してください。
- ③目覚ましセットスイッチを「ON」または「SNOOZE」の位置にします。

## アラームの止め方について

- 目覚ましセットスイッチをほかの位置にする
  - スヌーズボタンを押す  
目覚ましセットスイッチの設定により機能が異なります。  
ON：翌日のアラーム時刻まで停止します。  
SNOOZE：アラーム音が一時的に停止します。(スヌーズ機能)  
自動停止(アラームオートストップ機能)  
アラーム音は約2分間鳴り続けると自動的に終了します。自動的に停止した場合、翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。
- スヌーズ機能について(アラーム音を止めてもまた鳴る機能)**  
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音を停止させるの後もまた鳴り出します。この操作は最大7回までです。  
完全に止めるときには、目覚ましセットスイッチを「OFF」にしてください。

# 4. 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
夜間は電波状況が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変えて受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考に)、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。つぎに強制受信ボタンを押して、最長14分間待ちます。受信に成功すると正しい時刻を表示します。
- 手動で時刻を合わせて使用する  
電波を受信できない場所でご使用になるときは、手動で時刻合わせをしてください。手順は「手動での時刻の合わせ方」を参照してください。手動で時刻合わせをすると時間精度はクォーツ精度になります。

## 電波受信機能の停止方法

電波受信機能を停止(OFF)するには  
リセットボタンを押すと「ピー」と鳴りますので、この音に合わせてリセットボタンを3回押します。  
リセットボタン「ピー」→リセットボタン「ピー」→リセットボタン「無音」 受信機能停止  
誤受信しやすい場所や任意の時刻に合わせてご使用になるときは、電波受信機能を停止させ、カレンダーおよび時刻は手動で合わせてください。

電波受信機能を再開(ON)するには  
「戻る」ボタンを押しながらリセットボタンを押してすぐ離し、その後「戻る」ボタンを離します。確認音が鳴り、受信マークが点滅し受信を開始します。

## リセットと強制受信の違いは？

リセットは、回路を初期化して西暦2005年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定してから受信を開始します。  
強制受信は、受信に成功したときのみ表示時刻などを修正します。

## ●手動での時刻の合わせ方

- 下図の操作例を参考にして、カレンダーおよび時刻を合わせてください。
- 「進む」または「戻る」ボタンを押してすぐ離すと1つ単位で進んだり戻ったりします。
  - 「進む」または「戻る」を押し続けると早送りになります。

操作例は、2005年1月1日から2008年12月25日午前10:30に合わせています。



- 曜日は自動的に設定されます。
- 「秒」は⑥の「分」の操作をするたびに「00」にセットされます。
- 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻・カレンダーを修正します。
- 約30秒間操作されなかったときには、表示されている内容に更新して、通常の表示に戻ります。